

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成29年5月9日(火) 午前9時00分
開催場所	木城町総合交流センターリパリス1階会議室
出席委員	委員長 原 朋輝 委員 柄本奈津美
	委員 鳴海 良廣 委員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 専門監 外山保宏 課長補佐 白岩修
	学校教育係長 長友三保 給食センター係長 渡邊千里
<p>・議長選出：原朋輝委員長に議長をお願いしました。</p> <p>議題及び議事</p> <p>(1) 5月定例会会議録署名委員の指名(原委員長・柄本委員)</p> <p>(2) 4月定例会会議録承認について(原委員長・鳴海委員)</p> <p> 事前に送付していた4月定例会議事録について、承認され、両名において署名</p> <p>(3) 事務局報告事項</p> <p>① 教育長報告</p> <p>・新年度が始まり、職員、教職員の異動等もあったところですが、新たな気持ちでスタートできたと思います。4月6日(木)に交通安全祈願祭が行われました。職員におきましても交通安全運動について、気持ちを新たにしましたところ。4月7日(金)木城中学校入学式、4月12日(水)木城小学校入学式が行われ、委員の皆様にも出席いただきました。いずれの入学式も落ち着いた雰囲気の中で行われたと思います。4月13日(木)リパリスホールにおいて、宮崎県消防職員意見発表会が行われ、審査員として参加しました。県内11地区の消防職員の意見発表があり、内容もとても素晴らしく、一般の町民の方にも聞いてほしいと思いました。4月22日(土)に西米良村において、米良山神楽調査委員会が開かれ白岩補佐と出席しました。詳細につきましては、白岩補佐から説明します。</p> <p> 白岩補佐報告</p> <p> 本町からは、教育長と私と中之又神楽保存会の会長 中武裕次さんの3名で参加しました。米良山神楽というのは、西米良神楽(西米良村)、尾八重神楽(西都市)、中之又神楽(木城町)を併せたもので、今後3年間かけて1市1町1村で調査等を行い、文化庁に対し、「国指定文化財」としての指定を目指すものです。委員のメンバーは、宮崎県民俗学会や大学の講師等に加え、文化庁からの指導・助言も受けながら調査を行っていきます。</p>	

② 行事報告及び行事予定（課長説明）

課長

・ 4月行事、5月行事予定について説明。4月3日（月）定例教育委員会と転入教職員の対面式を行いました。対面式は、町より、町長、副町長、議会議長をお迎えして実施しました。4月7日（金）木城中学校入学式、4月12日（木）木城小学校入学式が開催され、委員皆様においても出席いただき、新入生をお祝いしたところです。同じ日に町長ヒアリングがありました。教育課から教育長以下係長までの6名で出席し、平成29年度主要事業の説明を行い、今後の課題として、来年100周年を迎える「日向新しき村」記念式典行事に係る実行委員会を本年度立ち上げて、記念行事の内容を協議・決定し、平成30年度予算に計上する等のタイムスケジュールについて、説明を行いました。4月17日（月）に児湯地方教育委員会連絡協議会理事会が都農町で開催され、教育長が出席しております。4月25日（火）にリバリスで行政連絡員会及び、自治公民館長会が開催されました。自治公民館長会では、町営体育館の天井落下防止工事のため7月から11月まで使用できないこと、それに伴う町民文化祭の日程変更及び、各学校の体育館を代替え施設として利用推進等の説明を行いました。また、事業計画・予算についても承認をいただきました。同じ日に、教育委員長・教育長会議が宮崎市で開催され、両名出席しております。5月の行事予定ですが、主なものだけ説明します。5月1日（月）木城町長議会臨時議会が行われ、平成28年度一般会計予算の専決議案の承認等すべて承認・可決されました。また、議会の構成替えも行われました。5月9日（火）5月期定例教育委員会を開催しております。5月11日から13日まで教育長が全国町村教育長会に出席します。この時、毛呂山町を訪問しまして「新しき村100周年記念行事」等について、関係者と協議をする予定です。5月12日（金）に中央婦人学級及び福寿大学の開級式がリバリスで行われます。5月13日（土）に児湯郡PTA協議会総会が木城中学校体育館で、同日ジュニアリーダークラブの開級式がリバリスで開催されます。5月15日（月）に都農町で児湯地方教育委員会連絡協議会総会が開催されます。委員の皆様の出席をお願いします。本年度から地区座談会が16日、18日、22日、23日、26日、29日、30日の7回開催されます。町からの出席者は、町長以下各課長職です。委員の皆様におかれましても、該当地区での座談会に出席をお願いします。5月27日（土）にみやざき県民総合スポーツ祭木城選手団壮行会、5月31日（水）に児湯郡選手団壮行会が新富町で開催され、6月3日（土）に宮崎市でみやざき県民総合スポーツ祭の開会式が行われ、各競技が行われます。本町においては、6月4日（日）に山塚広場において、アーチェリー大会が開催されます。6月9日（金）から木城町議会定例議会が開会します。6月12日（月）は第1回教科用図書採択協議会が開催され、道徳の教科書採択を行っていきます。出席者は、委員長、教育長、課長、専門監の4名です。

教育長

- ・文化財問題に係る口頭弁論等について、現状の説明を行いました。

長友係長（学校）

- ・5月9日（火）に木城中学校の参観日、5月28日（日）に木城小学校の参観日に併せて避難訓練を実施します。
白岩補佐公務のため途中退席

③ 要保護・準要保護児童生徒の認定について

長友係長より、要保護・準要保護（就学支援制度）の説明を行いました。

（対象者）生活保護を必要とする世帯、または、生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童・生徒

（目的・内容）義務教育を円滑に実施することができるように、学用品費や就学旅行費など一定の援助を行う。

（本年度申請者） 小学校児童20名 中学校生徒18名 合計38名

- ・申請内容を確認し、所得基準、民生委員の意見、学校長の所見等を1件ごとに慎重に審査・協議を行い、所得基準においては、全員が要件を満たしていること、この制度が児童・生徒のための就学援助制度であること等を総合的に踏まえて、全会一致で全員認定となった。

また、援助額についても、国の基準に準じて支給単価の見直しを行う旨の説明を行いました。

（3）意見交換

課長

- ・平成29年度木城町教育概要を策定しましたので、確認をお願いします。
- ・本町では、育英資金貸付、奨学金基金貸付の実施を行っていますが、どちらも無利子での貸付となっています。金額は、高校生が月1万円、大学生等が月2万円です。国レベルの一部の奨学金では、返済不要の給付型による奨学金制度が始まりました。このような中、奨学金制度について、委員の皆様の考えをお伺いしたいと思います。

委員長

- ・奨学金等の給付型については反対です。勤勉意欲の喪失に繋がらないか危惧します。過去には、本人がアルバイト等をして学費を支払っていたものです。昔と今とでは、時代が違うのかもしれませんが、委員皆様からのご意見をお願いします。

教育長

- ・給付型にした場合、生活状況で判断するのか、成績で判断するのか線引きが難しいです。

長友係長

・給付型の奨学金制度を実施している自治体もありますが、給付型にする条件として、学校を卒業した後、その自治体内に住むなどの条件が付されております。これは、定住施策と教育が混同した形となっており、教育の自由性から考えると問題だと思えます。また、財源の問題もあり、実施するのであれば、将来的に継続できる制度でないといけないと思えます。財源が続けば、実施したい気持ちもあります。

柄本委員

・学費というのは、基本的に保護者が責任を持つべきだと思います。

鳴海委員

・海外では、大学まで学費が無料というところもあります。ただ、1市町村において、給付型を実施すると相当の財源が必要になると思えます。

課長

・奨学金制度自体、一部の町民が受ける恩恵であるため、広く町民の理解を受けるために、無利子貸付になっていると思えます。これを給付型にすると、町としては、その後、町にメリットがあるような条件付けがないと他の町民に理解が得られないと思えます。そうすると、その条件のための教育となり、本来の目的である教育の自由性が失われるのではないのでしょうか。

委員長

・奨学金の貸付を受けて、将来頑張って返していく努力・頑張りも必要だと思います。

柄本委員

・保護者の中には、子どもが大学に行くために、子どもが小さい時から計画的にその資金を貯金しているという方もいます。家族内で、子どもの将来について、話し合い・努力も必要だと思います。やはり、選考基準が学力なのか経済力なのか線引きが難しいと思えます。現在、町の貸付金を利用されて方は増えているのですか。

長友係長

・経済状況の好転等により、平成28年度は育英資金4件、奨学金4件で、一番多い時が平成25年で育英資金16件、奨学金6件で減少傾向です。特に、奨学金については、基金管理となっており、貸したお金の返済金によって、新たな貸付を行っていますので、返済が滞らなければ継続的に実施可能な制度となっています。また、返済においても、猶予制度等あり、できる限り負担にならないようにしています。

外山専門監

・町として、どのような人に、どのような内容で奨学金を貸付けるかポイントを絞った方法もあると思えます。例えば、将来、木城町において、このような形でまちづくりに貢献します。という、具体的な将来ビジョンが明確な人には給付型で対応するなどの方法もあると思えます。まだ、いろいろ今後も議論が必要だと思います。

委員長

・この問題は、財源確保も含めた継続的な事業実施に向けて、今後も議論していきたい

と思います。次に、教師が部活等により休みが取れない環境になっている問題について意見ををお願いします。

教育長

・部活動の大会等に参加に係る休みは、取れていないと思います。学校では、教科担当もあり、授業を休むこともできないので、スケジュール調整など部活動を受け持っている教師は相当な多忙感があると思います。そこで、県教育委員会も週1回と土曜日、日曜日のいずれかの日に部活動休みなどの努力義務を設けて対応しています。

牛田委員

・中体連など勝ち残った場合など、教員も引率しますので、その分の代休はないと思います。

委員長

・小中一貫校推進についてはいかがでしょうか。

課長

・資料収集などを行い、今後も定例の教育委員会、必要があれば臨時会で継続的に協議していきます。

(4) 次回定例会日程

・平成29年6月2日(金) 午前9時よりリバリス1階会議室での開催が承認されました。

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

会議録署名委員

木城町教育委員会

委員長

原 朋 輝

委員

柄 本 奈 津 美